

青 壮 年 婦 人 部 活 動 を 通 じ て

沖縄市漁協青壮年婦人部

副部長 高江洲 文子

1. 地域と漁業の概要

私たちの所属する沖縄市は、沖縄本島の南部と北部を結ぶやや南寄りに位置し、石川市、具志川市、北谷町、北中城村に隣接した総人口115,342人の中部圏における中心的産業都市であり、漁業生産物の大きな消費地でもある。中城湾の入り江に面した沖縄市漁協は、組合員数113名（正組合員71名、准組合員42名）で構成され、漁船もほとんどが5トン未満の小型漁船による小規模漁業であり、パヤオ（浮魚礁）漁業、潜水器漁業、一本釣漁業、網漁業が中心となって操業している。

2. 青壮年婦人部結成の動機

近年海産物の有用性は、人に優しい蛋白源として高まり、魚食の勧めを説く知識人も多くなり、私達も水産物の良さを主婦の方々にもっとご理解戴き、子ども達の魚嫌いを少しでも無くすよう、食べ易く食をそそるような物を開発しなければとの思いから、昭和63年3月28日、健康で豊かな漁家生活の推進と活力ある漁村づくりを目標に地域特産品を生かした食生活の改善、会員の親睦を図るため、グルクン生活改善グループを親しい仲間8名で結成しました。沖縄市生活改善グループの一員として、市のグループ活動はもとより、市の産業祭り、漁連のお魚フェア、漁協のシイラ祭りへの参加と出来る限りの協力をしてきました。これらの活動により平成4年5月、沖縄市漁協青壮年部とグルクン生活改善グループが一つにまとまり沖縄市漁協青壮年婦人部として結成されると共に、漁協婦人部としての活動の場も広がり、お魚の加工技術の習得に止まらず海域環境、漁業環境の向上を考え、自分たちの出来る範囲は何か、実践で出来ればと考えるようにもなりました。

3. 実践活動の状況とその成果

(1) 講習会、先進地視察の開催

毎年種々の講習会を行っているが、昭和63年夏に発足の手始めに行ったマグロ解体講習会、魚一匹を家庭で解体する機会も無くなり、お集まりの主婦の皆様方も1~2kgのマグロの三枚下ろしには手こずり、先生としてご協力いただいたウミンチュ（漁業者）の方々の包丁の入れ方、その芸術とも見える素早い包丁さばきに感嘆し、マグロと格闘し、自分で下ろした中骨についた肉を見ながらしょげ、でも自分でやったという満足感で活々とした楽しそうな顔が昨日のここのように思い出される。ちなみに中骨についた肉を見てしょげていたのは私自身でもあります。その日、子供達にこの骨の空揚げがと

でも美味しいと好評であったのは、包丁さばきは30点、落第すれすれ、でも料理とは言えませんが無駄に捨てることなく利用した主婦としては80点取れるかな、合格と自分で自分を採点したこと、このことからもお解りのとおり、私も含めて主婦の方々の魚の知識、その料理法の知識が大変希薄になっていることを活動の中で思い知らされ、魚料理講習会の重要性を再認識している。又、各地域の海産物加工の実践状況の視察では、婦人パワーの力強さを実感し、自分たちもと奮い立ち今後の活動に生かしていきたいと考えている。

(2) 特産品づくり

魚(マグロ・シイラ等)南蛮漬けは、沖縄市産業祭りに出品し優秀賞を頂き、自分たちの最も得意とする加工品だが、原材料である魚の好不漁により価格が安定せず、思うように安定して製造するに至らず苦慮している。その他にもイカ、魚の加工等を漁協の協力を得ながら行ってきており、技術的には満足行く物が幾つか実証されている。

今年度のシイラ祭りでは、2日間併せて2万食のシイラの姿揚げ、シイラとアーサの天ぷら、トヒイカの鉄板焼き、魚汁をパヤオ研究グループが準備し、漁協、グループ、婦人部他協力者の方々に料理、接待に当たりました。大変好評で、お集まりの方々に用意した食材が時間前になくなりご迷惑をおかけしましたが、会場ではマグロの解体ショー、生バンドの演奏等も行われご満足いただけたものと考えています。シイラ(マンビカー)は、水深1,000メートル程の沖に設置されたパヤオ(浮魚礁)で春先から夏にかけて大量に揚がってくる4.5kgから25kg、平均10kgもある大きな魚である。姿焼きは、学校給食に出され子供達にも喜ばれている。そのまま刺身として、天ぷらとしていただいても大変美味しい魚で、ハワイでは高級魚として好まれているそうです。

平成8年10月6日第1回港まつりin泡瀬が開催され、ハーリー競技を中心に小学生によるエイサー、プラスバンド、子供達を対象とした魚の放流、自治会の空手演舞、釣り大会、カラオケコンテスト等盛りだくさん、組合員全員案内係り、進行役、安全係と各持場で大活躍、大会本部の発表では7万人以上のご来客、私達婦人達もカニ汁コーナーにおいては約2千食の料理をしました。(表1は平成7年度の活動実績)

(3) 放流事業への取り組み・実施

青壮年婦人部として取り組みを行っている放流事業は、沖縄市の場合、ノコギリガサミ、ヒメジャコがある。私は、中城湾域の漁業振興を考える職場に勤めることもあり、ウミンチュ(漁業者)の生活の向上を考えると、漁獲量の減少は私達人間活動に起因することも少なくなく、このことから実施されるようになったのが放流事業で、平成3年度から沖縄県の協力を得て毎年種苗をいただいて中間育成し、標識付(ヒレ抜)をし放流してきています。この放流事業で私がつけている海へのこだわりもあり、子供達に海、魚たちと親しむ場の提供ができればと、また海への興味が生まれることで漁業後継者として育ててくれたらという淡い期待もあり、標識付けは小学校5年生以上、放流は小学校低学年以下を対象に実施することにしています。仕事ということもありますが、漁協青壮年婦人部の一員としても埋め立て事業(中城湾港開発事業、東部海浜開発事業)により幼稚魚のゆりかこ(干潟域)が減少するのを目の前にして栽培漁業の重要性を解く1人です。ちなみに子供達が行った標識付け、放流、及び漁業者等が行ったものは表

2のとおりである。

4. 波及効果

- (1) 講習会、先進地視察による加工技術の向上
- (2) グループ（生活改善）活動、産業まつり、シイラまつり、港まつり等への参加による魚の消費拡大
- (3) 環境保護実践による交流会を通して意識の向上
- (4) 漁業者と消費者の交流をとおり意識が高められた。

これらのことから今年度には、県、沖縄市より補助により、地域産物販売施設（490㎡約150坪）も建設され、新鮮な魚の直売、より良い品物を提供する場と共に加工販売をする漁業婦人部の活躍の場も確保されている。

5. 今後の課題

- (1) 安定供給の確立

沖縄特有の多種多様な生態系の中、大量に安定した漁獲種が少ないため、この地域にあった特産品につながる種の掘り起こしが課題となっている。

- (2) 地域の特産となる加工品の掘り起こし

他地域と異なる新しい発想の加工品の開発

- (3) 各個人の能力の掘り起こし

ご婦人方は素晴らしい能力をポケットにしまい忘れていらっしゃいます。自分でできる自分だけの物を少しずつ皆のために出していくべきである。

- (4) 組織の充実

私達も、今までのただ呼びかけに応じて協力するという活動から、組織として、小さくても一企業体として、経営、利益を考えながらの商品開発、安定供給のための原材料の確保、お客様とのコミュニケーション等経験のない私達がやっていけるのか不安もありますが、これまでの経験活動を基に、より一層努力し、一步社会人としての自立の道を模索しながら、水産物と一番身近にいる私達は、魚食の勧めの先頭に立って行く義務もあると思いますので、皆様方のご指導、ご協力を得ながら課題を一つ一つ慌てずマイペースで確実にクリアし、仲良し婦人部として楽しく頑張る完成する施設の活用と水産業の振興、さらには地域の活性化に寄与できればと考えています。

表1 平成7年度活動実績

月 日	活 動 内 容
4. 3	青壮年婦人部会議（会議室）
4. 25	婦人部：一品料理講習（セリ市場）
5. 6	シイラ祭り（～7日まで）
6. 14	青壮年婦人部総会（旧会議室）
7. 18	ウニ視察研修会（古宇利島）
7. 29	漁協ボウリング大会（コザボウル）
9. 12	産業祭り味噌造り及び役員会（農民研修センター）
10. 6	産業祭り実行委員会（市役所）
10. 24	地域漁家経営事業推進会議（会議室）
10. 27	中城湾工事業者ソフトボール大会（海邦町総合グラウンド）
10. 28	お魚フェア（県漁連泊市場～29日）
10. 30	水産業振興大会（泊市場内）
11. 24	生活改善料理講習会（農民研修センター）
12. 8	漁業視察研修（国頭，宜名真シーラ干視察）
12. 19	生活改善一品料理展示会（市役所ロビー）
2. 3	婦人部会議（会議室）
2. 18	産業祭り
3. 1	モズク促進事業料理講習会（松本料理学院）

表2

年月日	魚種	標識付 (鱈)尾数	作業者及び 人員	放流月日	放流数	作業者及び 人員
H3. 7.22	オーストラリアキチヌ	29,777	漁業者他 34名	H3. 8.12	12万尾	協議会員他
7.23	"	30,400	" 29名	"		
H4. 7.22	"	3,498	" 28名	H4. 8. 2	6,298尾	与那原町祭り 子供約80名
	"			8. 4	25,000尾	漁業者他
H5. 7.10	カンパチ	2,918	沖縄市美東中学校 2年1組48名	H5. 7.16	3,742尾	協議会他
7.14	"	824	協議会他7名			
8. 1	"	386	" 5名	8.22	386尾	与那原町祭り 子供約50名
H6. 10. 6	ハマフエフキ	1,888	与那原町与那原中学校 3年44名	H6. 10.16	1,888尾	佐敷町馬天小学校 5年60名他
10.26	"	38,217	漁業者他 71名	11,14	38,000尾	協議会他
H7. 10.31	"	4,321	" 47名	H7. 11, 9	4,321尾	"
	ノギリガサミ			10.10	100尾	糸満豊かな 海づくり大会
	"			10.28	401尾	具志頭村祭り 港川保育園 パイン組22名
H8. 8. 5	オーストラリアキチヌ	3,566	与那原町子供会59名	H8. 8.23	2,500尾	南西石油栈橋近辺
8	"			10	1,000尾	港祭in泡瀬 約300名